

令和7年度流域下水道事業会計の決算概要

1 予算決算状況

(単位：百万円)

区分		予算額 A	決算額 B	予算残額 C=A-B	Cの内訳	
					翌年度繰越額	不用額
収益的収支	収入	10,087	9,629	457	-	-
	支出	10,044	9,591	453	-	453
	差引	43	39	-	-	-
資本的収支	収入	4,313	2,656	1,658	-	-
	支出	5,171	3,510	1,660	1,495	166
	差引	△857	△855	-	-	-

※ 表示単位未満を四捨五入して端数調整していないため、合計等と一致しない場合がある。

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、減価償却費などの内部留保資金で補填。

2 経営成績（損益計算書）

総収益 9,128 百万円に対し、総費用 9,123 百万円となり、当年度純利益は 5 百万円、前年度比較で 68 百万円の減となった。

(単位：百万円)

区分		令和6年度決算 A	令和7年度決算 B	前年度比較 B-A
営業収益	a	5,570	5,620	50
	うち維持管理負担金	4,558	4,637	79
	うち他会計補助金	822	790	△32
営業費用	b	8,820	8,947	126
	うち維持管理費	4,744	4,856	112
	うち減価償却費	4,053	4,055	2
営業損益	c=a-b	△3,250	△3,326	△76
営業外収益	d	3,478	3,505	27
	うち長期前受金戻入	3,264	3,290	26
営業外費用	e	172	161	△11
経常損益	f=c+d-e	55	18	△37
特別利益	g	52	3	△49
特別損失	h	34	16	△18
当年度純利益	f+g-h	73	5	△68
総収益	a+d+g	9,100	9,128	29
総費用	b+e+h	9,026	9,123	97

※ 表示単位未満を四捨五入して端数調整していないため、合計等と一致しない場合がある。

3 財政状況（貸借対照表）

- 資産は、有形固定資産の減価償却などにより、前年度比較で2,549百万円の減となった。
- 負債は、繰延収益の減少や企業債の減少などにより、前年度比較で2,554百万円の減となった。一方、資本は、当年度純利益により、前年度比較で5百万円の増となった。

（単位：百万円）

区分		令和6年度決算 A	令和7年度決算 B	前年度比較 B-A
資産の部	固定資産	118,578	116,668	△1,910
	うち有形固定資産	118,537	116,626	△1,910
	うち無形固定資産	2	2	0
	流動資産	3,268	2,629	△638
	うち現金・預金	2,901	2,233	△668
資産合計		121,846	119,297	△2,549
負債の部	固定負債	11,182	10,636	△545
	うち企業債	10,906	10,339	△566
	流動負債	3,246	2,670	△576
	うち企業債	1,106	1,189	83
	繰延収益	67,165	65,733	△1,432
負債合計		81,593	79,039	△2,554
資本の部	資本金	11,404	11,404	0
	剰余金	28,849	28,854	5
	うち資本剰余金	28,390	28,390	0
	うち利益剰余金	459	464	5
	うち未処分利益剰余金	459	464	5
資本合計		40,253	40,258	5
負債・資本の合計		121,846	119,297	△2,549

※ 表示単位未満を四捨五入して端数調整していないため、合計等と一致しない場合がある。

4 経営指標

- 流域下水道事業経営実行プラン（計画期間 R5～R9）に掲げる主な目標指標の状況は次のとおり。
- 各指標については、令和9年度の目標達成に向けて、概ね順調に推移している。

【健全な経営の確保に向けた目標指標】

区 分	R6 実績	R7 実績	R9 目標
経常収支比率（％） （経常収益／経常費用）	101	100	100 以上
企業債残高対事業規模比率（％） （企業債残高／営業収益）	171	151	160 以下
流動比率（％） （流動資産／流動負債）	101	98	100 以上